

# CASBEE<sup>®</sup> あいち

## 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト：CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社パロマ大工工場新プレス棟	階数	地上2階
建設地	愛知県丹羽郡大口町外坪五丁目73番1地14筆	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	48人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,112時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年5月 予定	評価の実施日	2025年9月22日
敷地面積	18,034 m <sup>2</sup>	作成者	大平 英志
建築面積	6,265 m <sup>2</sup>	確認日	2025年9月29日
延床面積	7,701 m <sup>2</sup>	確認者	山田 英樹



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	85%
③上記+②以外の	85%
④上記+	85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

### 3 重点項目

#### ①地球温暖化への配慮

3.5

#### ③敷地内の緑化

1.0

外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) **0.0%**

建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) **0.0%**

#### ②資源の有効活用

3.7

#### ④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料> **なし**

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> **なし**

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
株式会社パロマ大工工場新プレス棟

欄に数値またはコメントを記入  
■使用評価マニュアル: ■評価ソフト:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄			建物全体・共用部分			住居・宿泊部分			全体
配慮項目	独自基準	重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>													2.7
<b>Q1 室内環境</b>													-
<b>1 音環境</b>													-
1.1 室内騒音レベル			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1.2 遮音			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1.3 吸音			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>													-
2.1 室温制御			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 室温			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 外皮性能			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.3 空調方式			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>													-
3.1 昼光利用			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 昼光率			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 方位別開口			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.2 グレア対策			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 昼光制御			5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.3 照度			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.4 照明制御			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<b>4 空気質環境</b>													-
4.1 発生源対策			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4.2 換気			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 換気量			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 自然換気性能			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>													3.8
<b>1 機能性</b>													-
1.1 機能性・使いやすさ			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 広さ・収納性			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		独自	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 広さ感・景観 (天井高)			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 内装計画			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1.3 維持管理			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保			3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>													3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振			0.5	3.2	0.52	-	-	-	-	-	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			0.4	3.0	0.48	-	-	-	-	-	-	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	3.0	0.80	-	-	-	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		②	0.3	3.7	0.33	品確法における鉄骨の評価方法基準で等級3相当	-	-	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			-	5.0	0.23		-	-	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			-	3.0	0.23		-	-	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			-	3.0	0.09		-	-	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			-	3.0	0.08		-	-	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			-	5.0	0.15	B、Cを使用	-	-	-	-	-	-	
			-	3.0	0.23		-	-	-	-	-	-	
2.4 信頼性			0.1	2.8	0.19		-	-	-	-	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	3.0	0.20		-	-	-	-	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	2.0	0.20		-	-	-	-	-	-	
3 電気設備			3.0	3.0	0.20		-	-	-	-	-	-	
4 機械・配管支持方法		②	3.0	4.0	0.20	耐震クラスA	-	-	-	-	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	2.0	0.20		-	-	-	-	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>				0.4	4.4	0.48	-	-	-	4.4	
3.1 空間のゆとり				0.3	5.0	0.31	-	-	-		
1 階高のゆとり			7m(3.9m以上)		5.0	0.60	-	-	-		
2 空間の形状・自由さ			0.08(0.1未満)	3.0	5.0	0.40	-	-	-		
3.2 荷重のゆとり			30000N/㎡(4500N/㎡以上)	3.0	5.0	0.31	-	-	-		
3.3 設備の更新性		②		0.3	3.6	0.38	-	-	-		
1 空調配管の更新性					3.0	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性				構造部材を痛めることなく更新可能	3.0	4.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性				構造部材、仕上げ材を痛めることなく更新可能	3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性				仕上げ材を痛めることなく更新可能	3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	3.0	0.22	-	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>						0.57	-	-	-	2.0	
1 生物環境の保全と創出			独自③		1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			独自④		2.0	0.40	-	-	-	2.0	
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				0.3	3.0	0.30	-	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④		3.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50	-	-	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							-	-	-	3.5	
<b>LR1 エネルギー</b>						0.40	-	-	-	3.6	
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	-	-	-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.13	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEI=0.69	3.0	4.1	0.63	-	-	-	4.1	
4 効率的運用				0.2	3.0	0.25	-	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング				-	-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	-	-		
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						0.30	-	-	-	3.6	
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4	
1.1 節水			節水器具	3.0	4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.7	0.63	-	-	-	3.7	
2.1 材料使用量の削減			ハイベースNEO、JFEデッキ使用		4.0	0.07	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.25	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②		3.0	0.21	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自		3.0	5.0	0.21	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自		3.0	4.0	0.25	-	-		
評価する取組みが1つ							-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.6	0.22	-	-	-	3.6	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			指定化学物質3項目使用無し	3.0	4.0	0.32	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.5	0.68	-	-	-		
1 消火剤					-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)			ODP0.01未満、GWPが低い断熱材を使用		4.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-	-		
<b>LR3 敷地外環境</b>						0.30	-	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮			①		3.5	0.33	-	-	-	3.5	
ライフサイクルCO2排出率85%							-	-	-		
2 地域環境への配慮				0.3	2.7	0.33	-	-	-	2.7	
2.1 大気汚染防止			燃焼機器無し		5.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.0	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減			独自		3.0	0.25	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制			独自		1.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制					1.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				0.3	3.3	0.33	-	-	-	3.3	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音			独自		3.0	1.00	-	-	-		
2 振動			独自		-	-	-	-	-		
3 悪臭					-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制					1.0	-	-	-	-		
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				0.2	4.7	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明無し		5.0	0.70	-	-	-		
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			ブラインド設置		4.0	0.30	-	-	-		

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE:建築(新築)2016年版+あいち版手引き

株式会社パロマ大ロ工場新プレス棟

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.5</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.5	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.7</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.2	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.4	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.7	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:0%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 株式会社パロマ大口工場新プレス棟

計画上の配慮事項	
総合	工場見学ができる見学通路、休憩スペースとして利用できるベンチが設置されたホールを設けることで、地域の活動や賑わいに貢献する。
Q1 室内環境	工場用途のため評価対象外
Q2 サービス性能	建物の長期利用を考慮し、耐用性の向上に配慮した。構造部材を痛めることなく更新できるように建物内にケーブルラックを敷設した。
Q3 室外環境(敷地内)	工場の見学通路を計画し、地域に開放された空間とした。
LR1 エネルギー	設備機器は高効率のものを選定し、省エネに配慮した。
LR2 資源・マテリアル	節水型衛生器具の採用やリサイクル資材を利用するなど、資源消費の低減、環境負荷削減に配慮した。
LR3 敷地外環境	屋外照明機器はタイマー付き、ルーバー付きとし、光害に配慮した。
その他	